

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年8月12日

**【四半期会計期間】** 第113期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

**【会社名】** 日立ツール株式会社

**【英訳名】** Hitachi Tool Engineering, Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 田中啓一

**【本店の所在の場所】** 東京都港区芝浦一丁目2番1号

**【電話番号】** 03 - 6858 - 2201

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部門・CSR担当 山口徹

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区芝浦一丁目2番1号

**【電話番号】** 03 - 6858 - 2201

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部門・CSR担当 山口徹

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第112期 第1四半期 連結累計期間	第113期 第1四半期 連結累計期間	第112期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (百万円)	3,822	4,404	16,140
経常利益 (百万円)	492	911	2,404
四半期(当期)純利益 (百万円)	336	540	1,612
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	88	533	1,479
純資産額 (百万円)	21,746	23,285	22,945
総資産額 (百万円)	26,891	29,389	29,331
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.26	19.70	58.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	80.87	79.23	78.23

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第112期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新興国経済が引き続き成長する中、米国・欧州などの先進国の景気改善にも支えられ、景気回復基調が継続しております。一方国内では、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、それまで回復基調にあった経済活動は、急減速し、厳しい状況となっております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業におきましては、震災の影響により一時的に大幅な生産調整を余儀なくされましたが、復旧が急ピッチで進んでおり、生産の回復基調が鮮明になってきております。

当工具業界においても、国内における急激な需要減の影響はありましたが、海外需要に支えられ総じて堅調な市況にて推移いたしました。

当社グループにおいても、欧州の需要増やアジア地域の好調な需要に牽引され、売上高は対前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高44億4千万円(前年同期比15.2%増)と増加いたしました。このうち国内向けの売上高は24億6千6百万円(同2.8%増)、海外売上高は19億3千8百万円(同36.2%増)であります。利益面では、営業利益9億1百万円(同70.7%増)、経常利益9億1千1百万円(同85.0%増)、四半期純利益5億4千万円(同60.7%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 日本

主要な取引先である自動車産業におきましては、震災の一時的な影響はありましたが、復旧が進んでおり、それによる需要に支えられ、売上高は38億6千8百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ3億8千3百万円の増加、またセグメント利益(税金等調整前四半期純利益)は7億6千1百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ2億8千1百万円の増加となりました。

#### ドイツ

欧州の好調な需要に支えられ、売上高は8億3千4百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ2億3千3百万円の増加、またセグメント利益(税金等調整前四半期純利益)は2億3千4百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1億2千1百万円の増加となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は、293億8千9百万円(前連結会計年度末比5千7百万円増)となりました。これは未払法人税等の支払による関係会社キャッシュプール金が減少した一方で、現金及び預金、有形固定資産が増加したことが主な要因となっております。

負債合計は、61億3百万円(前連結会計年度末比2億8千3百万円減)となりました。これは未払法人税等の減少が主な要因となっております。

純資産合計は、232億8千5百万円(前連結会計年度末比3億4千万円増)となりました。これは為替の影響により為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金が増加したことが主な要因となっております。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は198百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	27,514,802	同左	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数は100株 であります。
計	27,514,802	同左		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年6月30日		27,514,802		1,455		807

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 57,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,448,700	274,487	
単元未満株式	普通株式 8,052		
発行済株式総数	27,514,802		
総株主の議決権		274,487	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が3,500株(議決権35個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式6株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日立ツール株式会社	東京都港区芝浦 一丁目2番1号	57,600		57,600	0.21
計		57,600		57,600	0.21

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,851	3,013
受取手形及び売掛金	2,046	2,041
商品及び製品	1,408	1,494
仕掛品	468	528
原材料及び貯蔵品	362	568
関係会社キャッシュプール金	9,871	9,123
繰延税金資産	442	448
その他	89	228
貸倒引当金	41	43
流動資産合計	17,498	17,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,720	2,677
機械装置及び運搬具(純額)	4,137	4,183
土地	3,257	3,257
その他(純額)	406	558
有形固定資産合計	10,521	10,675
無形固定資産	110	102
投資その他の資産		
投資有価証券	325	340
繰延税金資産	729	723
その他	146	143
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	1,200	1,207
固定資産合計	11,832	11,985
資産合計	29,331	29,389



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	620	784
未払費用	841	711
未払法人税等	880	402
役員賞与引当金	32	7
その他	2,127	2,304
流動負債合計	4,502	4,210
固定負債		
退職給付引当金	1,788	1,812
役員退職慰労引当金	60	45
その他	34	34
固定負債合計	1,884	1,892
負債合計	6,386	6,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,455	1,455
資本剰余金	807	807
利益剰余金	20,981	21,330
自己株式	68	68
株主資本合計	23,175	23,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	79
為替換算調整勘定	301	317
その他の包括利益累計額合計	230	238
純資産合計	22,945	23,285
負債純資産合計	29,331	29,389

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,822	4,404
売上原価	2,268	2,410
売上総利益	1,553	1,994
販売費及び一般管理費	1,025	1,092
営業利益	527	901
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	0	0
特許料収入	16	16
固定資産売却益	-	24
スクラップ売却益	2	23
その他	18	10
営業外収益合計	48	89
営業外費用		
売上割引	50	52
その他	33	26
営業外費用合計	83	78
経常利益	492	911
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	492	911
法人税、住民税及び事業税	233	376
法人税等調整額	77	5
法人税等合計	156	370
少数株主損益調整前四半期純利益	336	540
少数株主利益	-	-
四半期純利益	336	540

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336	540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	8
為替換算調整勘定	241	16
その他の包括利益合計	247	7
四半期包括利益	88	533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	533
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
1. 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
	当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	429百万円	373百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	192	7	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	192	7	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	ドイツ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,946	594	3,540	281	3,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	539	6	546		546
計	3,485	601	4,086	281	4,368
セグメント利益又は損失( )	479	113	593	5	588

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
「その他」の区分の損失	5
セグメント間取引消去	95
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	492

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	ドイツ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,065	825	3,891	513	4,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	803	9	812		812
計	3,868	834	4,703	513	5,217
セグメント利益	761	234	996	8	1,005

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	996
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	93
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	911

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12.26円	19.70円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	336	540
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	336	540
普通株式の期中平均株式数(株)	27,457,383	27,457,196

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月12日

日立ツール株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中山 清美

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 片倉 正美

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日立ツール株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日立ツール株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。